

令和3年度大阪大学大学院薬学研究科博士前期課程一般入試における  
出題ミスについて

このたび、令和2年8月20日（木）に実施しました、「令和3年度大阪大学大学院薬学研究科博士前期課程一般入試」の試験問題において、出題ミスがあることが判明しました。

受験者ならびに関係者の皆様にご迷惑をおかけしましたことについて、お詫び申し上げますとともに、再発防止に努めてまいります。

1. 入試の概要

(1) 入試方法区分：博士前期課程一般入試

(2) 試験実施日：令和2年8月20日（木）

(3) 合格発表日：令和2年9月23日（水）

※当初、合格発表日は9月7日を予定しておりましたが、9月8日に追試験が実施されたため、合格発表日は9月23日に変更となりました。

(4) ミスのあった試験科目：専門科目（物理化学・分析化学領域）

(5) 当該科目の受験者数：4名（全体の受験者数は62名）

2. 出題ミスの内容

専門科目の[4]において、問題文中で「水の比熱： $4.18 \text{ J g}^{-1} \text{ K}^{-1}$ 」と記載すべき箇所を誤って「水の比熱： $4.18 \text{ J mol}^{-1}$ 」と記載した。

3. 出題ミスへの対応

当該問題について、問題が成立していなかったため、水の比熱が関係する設問[4]（問2）（問3）（問4）を全員正解として採点します。

4. 再発防止対策

複数回行うチェック体制は強化しながら、査読及び校正業務では万全を期するよう徹底します。

令和2年9月18日

大阪大学薬学研究科長

土井 健史